



登校する児童・生徒に声掛け＝14日、新宮市清水元

元気に登下校する姿

臨時休校明け新学期

新宮市

新宮・東牟婁地域で新型コロナウイルスによる臨時休校が明け、新学期が始まった。新宮市内では児童・生徒が元気に登下校する姿が見られ、学びやに子どもたちの声が戻った。

14日朝には、市内各所

の通学路で「さわやか朝の声かけ運動」があり、教職員や子ども見守り隊、補導協力員、地域住民らが登校中の子どもたちとあいさつを交わした。

新宮市清水元の踏切に

立った見守り隊の大屋美

子さんは、王子ヶ浜小学校の児童や城南中学校の生徒に声を掛け、「毎朝子どもたちの姿を見ると若さや元気をもらえます。長年学校の用務員をしていたので、子どもたち

ちが大好きです」と笑顔を見せた。

三輪崎小学校では下校指導があった。午前11時になると1年生75人が校庭に飛び出し、教職員に付き添われ、放課後児童クラブ虹や光洋中学校、佐野方面など6コースに分かれて下校した。

児童らは新品のランドセルに交通安全カバール

付け、きちんと一列にな

って歩いた。途中まで迎

えに来ている保護者の姿



教職員と下校する1年生＝同日、新宮市三輪崎